

[導入効果] 業務利用への適用例

従来FAXで実施していた業務を、通信コスト・プリントコスト削減と業務効率改善を図ることを目的として、「スキャン to メール」「メール to プリント」「インターネットFAX」に置き換えることで、大幅なコスト削減が可能になります。

店舗 → 本部 へ送信



<シナリオ>

店舗から本部へ「スキャン to メール」。送信された文書は本部の担当部署/担当者のアドレスに振り分け受信。

●業務効率改善

担当者宛に直接メールが届き、しかも、メールアドレスや表題などで自動的にフォルダ分け[※]されるので仕分け工数を大幅削減
※お使いのメールソフトによっては受信フォルダへの自動振り分けができない場合があります

担当者ごとにメールで受信

●業務効率改善

送信先も表題もあらかじめプログラム設定されているので、簡単なボタン操作だけで手軽にメール送信



スキャン to メール

定額料金なら、通信費は「0円」!

- 日報
- 発注書
- 商品提案 など

インターネット/VPN

本部

日報

発注書

商品提案

本部

営業担当

購買担当

商品開発担当

●通信コスト削減 (従来のコストと比較)

通信費:10円 × 3回 × 30日 × 30店舗
27,000円^{※1}削減 (月あたり)

※1:各店舗から本部に1日3回、1回1分で書類を送信するものとして従来のFAX通信費を算出
 ※2:各店舗から1日あたり受信3回(3枚)、1ヶ月を30日、全30店舗で2,700枚/月受信、1枚あたりのプリントコストを8円として従来のプリントコストを算出

●プリントコスト削減 (従来のコストと比較)

文書はすべてパソコン画面で確認できるので、ペーパーレス化を図れば、プリントコスト(紙代・印刷代)を削減可能
 紙代:2,700枚 × 8円(プリントコスト/枚)
21,600円^{※2}削減 (月あたり)

店舗 → 本部 へ送信



<シナリオ>

店舗から本部へ「インターネットFAX」。本部のW-NET FAX対応機器で受信。

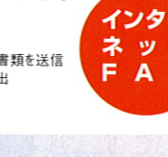
●業務効率改善

担当者宛に直接メールが届き、しかも、メールアドレスや表題などで自動的にフォルダ分け[※]されるので仕分け工数を大幅削減
※お使いのメールソフトによっては受信フォルダへの自動振り分けができない場合があります

担当者ごとにメールで受信

●業務効率改善

送信先も表題もあらかじめプログラム設定されているので、簡単なボタン操作だけで手軽にメール送信



インターネット FAX

定額料金なら、通信費は「0円」!

- 報告書
- 依頼書 など

インターネット/VPN

本部

報告書

依頼書

紙文書

本部

報告書

依頼書

紙文書

●通信コスト削減 (従来のコストと比較)

通信費:10円 × 3回 × 30日 × 30店舗
27,000円^{※3}削減 (月あたり)

※3:各店舗から本部に1日3回、1回1分で書類を送信するものとして従来のFAX通信費を算出

●業務効率改善

文書はすべてパソコン画面で確認できるので、ペーパーレス化を図れば、プリントコスト(紙代・印刷代)を削減可能
 紙代:2,700枚 × 8円(プリントコスト/枚)
21,600円^{※2}削減 (月あたり)

本部 → 店舗 へ送信



<シナリオ>

本部のパソコンから店舗へメール。店舗では「メール to プリント」により、受信したメールを自動プリント。本部ではプリント完了を開封通知メールで確認。

●業務効率改善

担当者宛に直接メールが届き、しかも、メールアドレスや表題などで自動的にフォルダ分け[※]されるので仕分け工数を大幅削減
※お使いのメールソフトによっては受信フォルダへの自動振り分けができない場合があります

担当者ごとにメールで受信

●業務効率改善

FAXの同報通信と異なり、メーリングリスト送信なので回線の占有がなく、タイムラグも軽減



メーリングリストで全店に一斉配信

定額料金なら、通信費は「0円」!

- 通達文
- 納品書
- 連絡事項 など

インターネット/VPN

メール to プリント

開封通知メール

自動プリント

本部

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

開封通知メール

自動プリント

●通信コスト削減 (従来のコストと比較)

通信費:30円 × 15回/月 × 店舗 × 30店舗
13,500円^{※4}削減 (月あたり)

※4:全30店舗(20km~60km圏)に、1ヶ月あたり15回の頻度で、1店舗あたり1回3分で書類を送信するものとして従来のFAX通信費を算出

●業務効率改善

重要な受信メールだけをプリントするように設定できるので、連絡事項の緊急度合いを店舗で容易に判断可能

※通信費は、市外通話20km~60km圏で1分10円(税込10.5円)、3分で30円(税込31.5円)(NTT東日本・NTT西日本の固定電話から固定電話への通話料金を参考)